

生活科・総合で学びの基盤を固める

－感覚・感情・歓声に溢れる活動を－

藤 井 千 春
早稲田大学 教 授

子どもは集団の中で育つ

「お行儀よく整えて揃える」「指示を徹底する」は通用しない。

教師の専門性は、子どもたちの**集団の教育力**を高めることである。

子どもたちを**相互支援的に高まり合う**集団に育てることである。

教師は子どもたちの**かかわり合い方**を指導する。



みんなで力を合わせて挑戦する。

「楽しかった・よいことをした」「成長した」という感情の共有

達成感が予感される活動への協働しての挑戦

温かく相互支援的な仲間意識と

その一員としての自己意識

学習への意欲と生活への態度の統一的指導



育てるための教師の役割

教師の指示・命令・説明は最小限に。

子どもにいわせるという教師の姿勢

ファシリテート ⇨ 意欲を盛り上げる。

コーディネート ⇨ 聞かせて対話を促す。

サポート ⇨ 自信を深め意欲を高めるよう価値づける。

◎ つぶやきをつなげさせて広げる。



子どもたちの仲間意識の成長

低学年	みんなで活動することが 楽しい 。
中学年	自分たちで学習活動を 進めている 。
高学年	お互い を受容的に わかり合える 。



- ◎教師たちが**授業づくりを楽しみ合え**ば、子どもたちは学習活動に意欲的になる。
- ◎教師たちが授業づくりを楽しみ合い、子どもたちについて温かく語り合える研究環境を生み出すことに**管理職の能力**が示される。
⇒研究と学校づくりの一体化

事例 1 生活科 1年

T 「次にやるときには、どうすればうまい

C 「立ったまま入ると、また恐竜が来たと思う。」

「お風呂に入る時みたいにしゃがんで小さくなった入る

「人間の言葉を話すと、『食べてしまおう』と言っている
と思われる。」

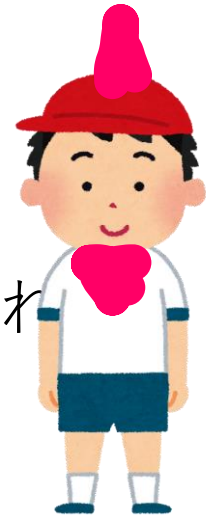
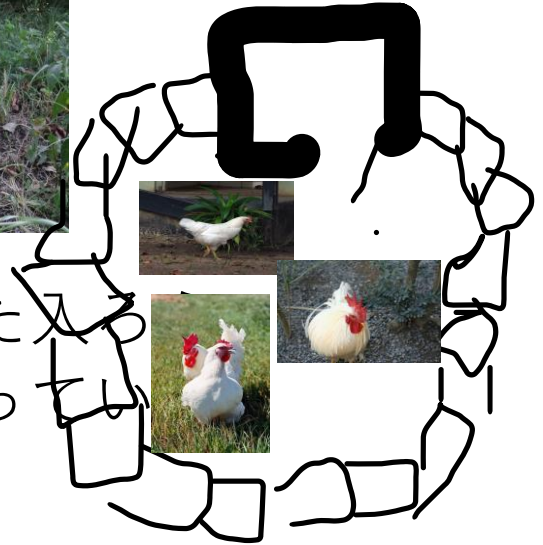
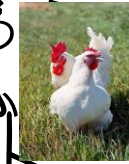
「ぼくたちも話さないと作成を実行できない。」

「ニワトリの言葉で合図を決めよう。」

「白い体操服を着ていれば仲間だと思う。」

「紅白帽の紅を被ろう。」

「それなら画用紙を赤く塗って、それを切り取ってここに貼れば
変装バッチリ バッチリだ。」



2.アヒルが病気になった！治療代が必要だ。

T「動物病院に聞いたけど、保険がきかないから5,000円かかるらしいよ。
先生、立て替えておいてもいいけど、先生貧乏だから返してもらわないと生活に困ってしまうよ。」

「家の人から少しずつ出してもらおう。」

「自分たちのアヒルだから、自分たちで稼がないと…。」

「そうだ。保護者会の時に何かやって親たちに出してもらおう。」

「社会で勉強した茶の湯だ。茶会だ。」

「一人300円で、20人来ると…。」

「私、浴衣を着て接待する。」

「墨絵で掛け軸を造ろう。」

「花を摘んできて生けるとよい。」

「畳はどうする?」「ゴザでもいいよ。」

「みんなの家から茶碗を持ち寄ろう。」



3 漢字がわかったら、漢字で…

「北勢よう業所」 ⇨ 「北勢窯業所」



「どうゆう土を使うのか。」

「どういう土を使うのか。」

